



“地域のことは地域で考えよう”

2017年6月29日

## おきぎん県内景況・速報 2017年5月

### 一県内景況は、拡大している一

#### ■個人消費

スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。  
百貨店売上高は前年同月を下回る。  
家電卸出荷額は前年同月を下回り、新車販売台数は上回る。

#### ■建設関連

公共工事請負金額は前年同月を上回る。  
生コン、セメントはともに前年同月を上回る。

#### ■観光関連

入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も上回る。  
ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)も上回る。

#### ■企業倒産

件数は前年同月と同数、負債総額は上回る。

### 現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

おきぎん県内景況・速報(2017年5月分)

◎2017年5月 おきぎん「カトリア」景況図



◎概況：県内景況は、拡大している。

5月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同月上回りました。百貨店売上高は身の回り品や家庭用品の需要が伸びず、2ヵ月連続で前年同月を下回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、テレビ、エアコンが減少し、2ヵ月連続で前年同月を下回りました。新車販売台数は普通乗用車、軽乗用車の需要増加により、前年同月上回りました。

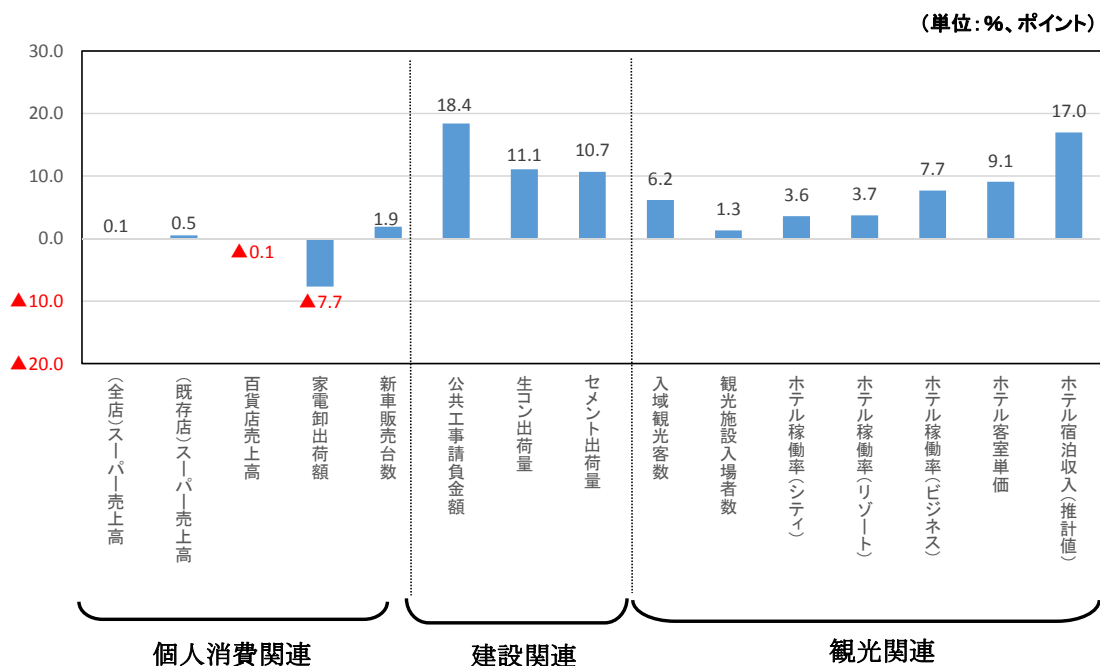
建設関連では、公共工事請負金額は、国や沖縄県発注による大型工事などにより前年同月上回りました。建設資材である生コン、セメントはともに前年同月上回りました。

観光関連では、入域観光客数は56ヵ月連続で前年同月上回り、観光施設入場者数も前年同月上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月上回りました。ホテル客室単価は前年同月上回り、宿泊収入(推計値)も上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費や建設関連が概ね堅調であり、観光関連でも好調な動きが継続していることなどから「県内景況は拡大している」と景気判断を据え置きました。

(2014年2月の上方修正後から40ヵ月連続で判断維持)

主要景気指標前年同月比



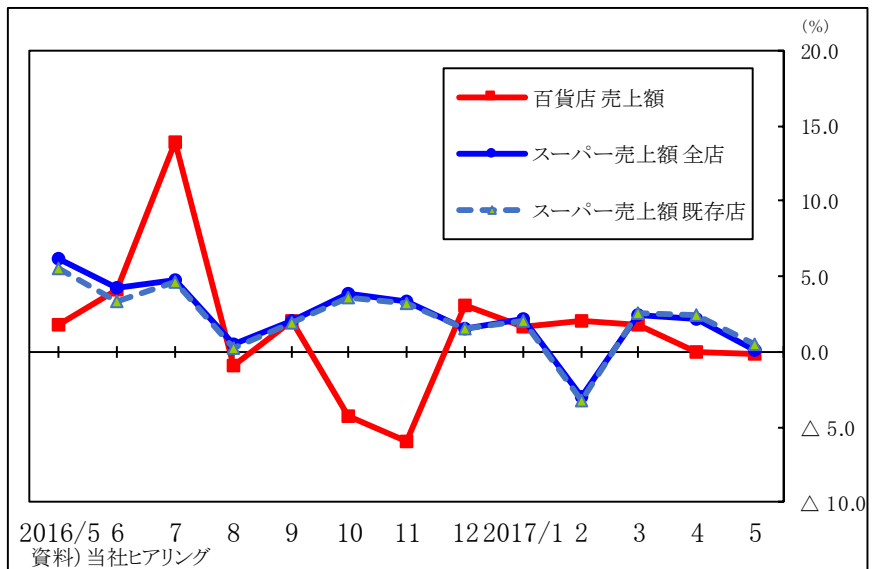


■ 個人消費: (やや良い)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。百貨店売上高は前年同月を下回る。

単位:%

	スーパー売上額		百貨店
	全店	既存店	売上額
2016/5	6.2	5.5	1.8
6	4.2	3.3	4.1
7	4.8	4.6	13.9
8	0.5	0.2	△ 0.9
9	2.1	1.9	2.0
10	3.8	3.6	△ 4.3
11	3.4	3.2	△ 5.9
12	1.6	1.5	3.1
2017/1	2.2	2.0	1.7
2	△ 3.0	△ 3.2	2.0
3	2.4	2.6	1.8
4	2.2	2.4	△ 0.02
5	0.1	0.5	△ 0.1

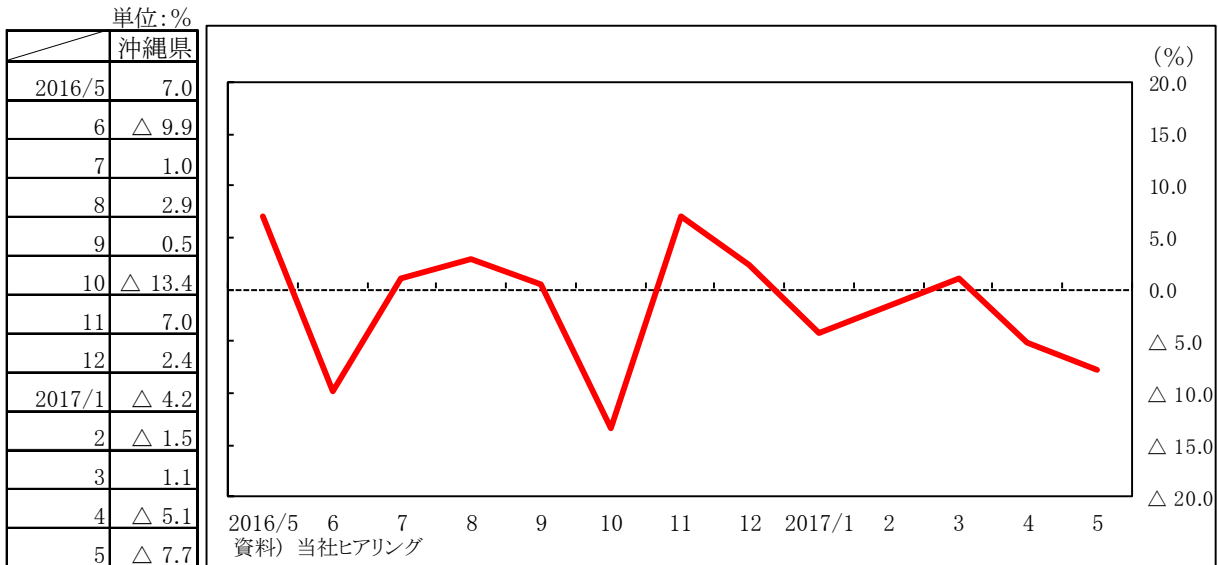


注) 前年同月比

5月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース(前年同月比 0.1%増)」はウエイトの高い「食料品(同 0.9%増)」などの売れ行きが伸び、前年同月を上回りました。「既存店ベース(同 0.5%増)」も、3ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、ウエイトの高い「食料品(同 1.4%増)」は、生鮮全般(精肉・水産・青果)や惣菜の売れ行きが堅調に伸び、前年同月を上回りました。一方で家電を含む「家庭用品(同 1.6%減)」は、インバウンド(訪日観光客)による雑貨(化粧品、小物類)需要は堅調であったものの、平均気温が昨年ほど上がらなかったことから、エアコンなどの売れ行きが低調で前年同月を下回りました。「衣料品(同 3.4%減)」は夏物の需要が伸びず、前年同月を下回りました。

**百貨店売上高**は、「衣料品」や「雑貨」などの売れ行きが堅調であったものの、身の回り品、家庭用品の需要が伸びず、2ヵ月連続で前年同月を下回りました(同 0.1%減)。内訳をみると、ウエイトの高い「衣料品(同 1.2%増)」は、「婦人服(同 4.0%増)」、「子供服(同 20.1%増)」は、割引企画などの販促強化から売れ行きが堅調に推移し、前年同月を上回りました。また「雑貨(同 8.5%増)」も、継続的なインバウンド需要により前年同月を上回りました。一方で、「家庭用品(同 33.0%減)」は、昨年開催した催事企画がなかったことから前年同月を下回りました。

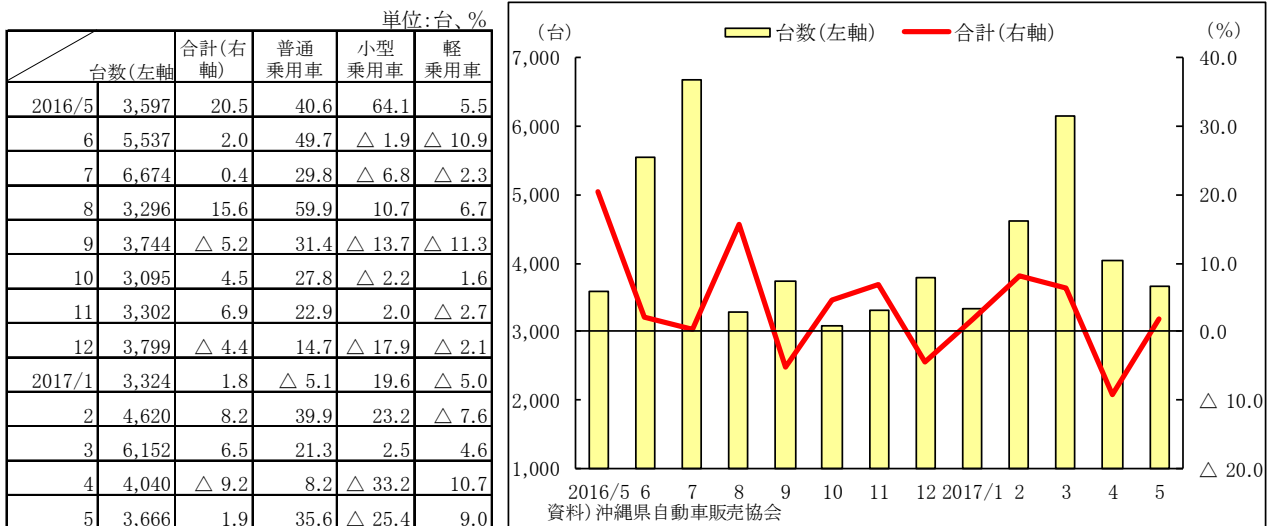
②家電卸出荷額…テレビ、エアコンの売上減少などにより前年同月を下回る。



注) 前年同月比

**家電卸出荷額**は、テレビやエアコンの売上減少などにより、2 ヶ月連続で前年同月を下回りました(同 7.7%減)。品目別では、「洗濯機(0.9%増)」が好調だったものの、「テレビ(同 17.9%減)」は高価格帯商品の売れ行きが伸び悩んだことから前年同月を下回りました。また、「エアコン(14.5%減)」は、気温要因などで水準の高かった前年の反動などから前年同月を下回りました。

③新車販売台数…普通乗用車、軽乗用車の需要増加などから前年同月を上回る。



注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

**新車販売台数**は、全体で 3,666 台(同 1.9%増)となり、2 ヶ月ぶりに前年同月を上回りました。車種別では「普通乗用車(同 35.6%増)」は 4 ヶ月連続で前年同月を上回ったものの、「小型乗用車(同 25.4%減)」は前年にあったレンタカー需要の反動などで前年同月を下回りました。また、「軽乗用車(同 9.0%増)」は、軽自動車税増税の影響等により落ち込んだ前年の反動から、3 ヶ月連続で前年同月を上回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

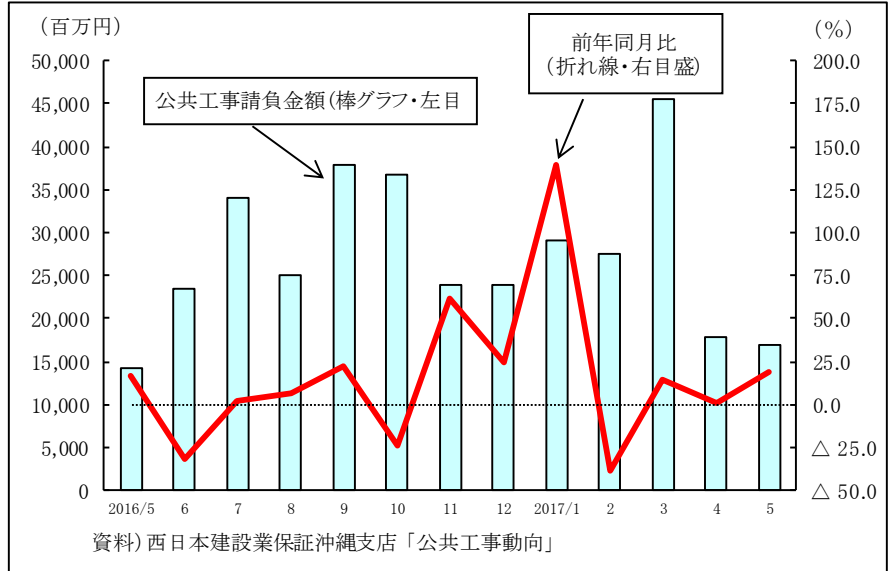


■ 建設関連: (やや良い)

①公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。

単位:百万円、%

	請負金額	前年同月比
2016/5	14,261	16.8
6	23,421	△31.8
7	34,156	2.0
8	24,997	7.0
9	37,867	22.8
10	36,683	△24.1
11	24,026	62.2
12	23,920	25.1
2017/1	29,148	138.9
2	27,499	△38.6
3	45,553	14.0
4	17,823	0.7
5	16,886	18.4

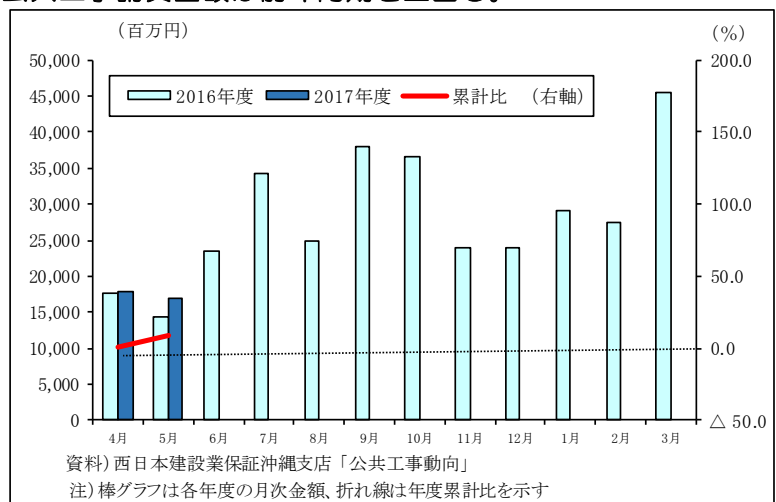


5月の公共工事請負金額は、前年同月比18.4%増の168億8,600万円となりました(3ヵ月連続増)。発注者別でみると、「独立行政法人等(同79.7%減)」は前年の沖縄自動車道関連工事などの大型工事の反動、「市町村(同0.5%減)」は浦添市や北谷町での小学校校舎増改築工事などでの反動などで前年同月を下回りました。一方で、「国(同77.3%増)」は沖縄防衛局のシュワブ関連工事、「沖縄県(同20.9%増)」は国際物流拠点産業集積地域賃貸工場新築工事の大型工事、「その他の公共的団体(同9.1%増)」も前年同月を上回りました。

【参考】公共工事(年度累計)…公共工事請負金額は前年同期を上回る。

単位:百万円、%

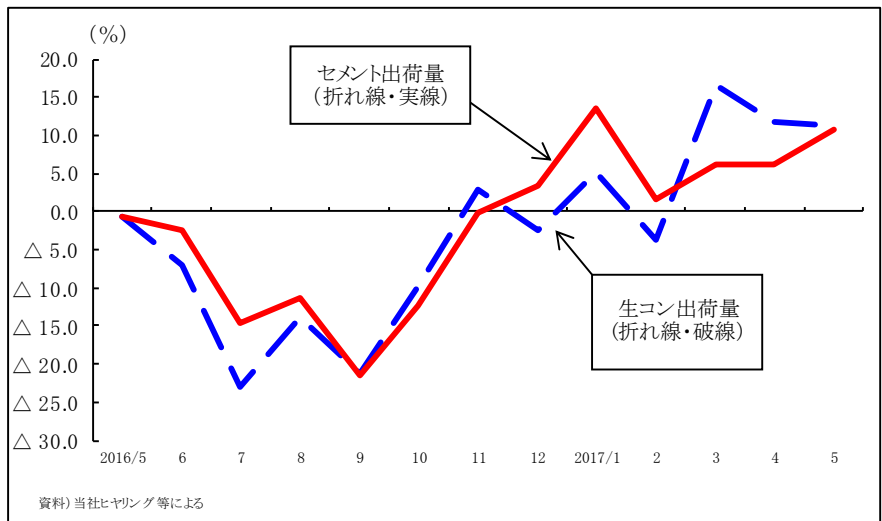
	2016年度	2017年度	累計比(右軸)
4月	17,690	17,823	0.7
5月	14,261	16,886	8.6
6月	23,421		
7月	34,156		
8月	24,997		
9月	37,867		
10月	36,683		
11月	24,026		
12月	23,920		
1月	29,148		
2月	27,499		
3月	45,553		



今年度4月～5月までの累計を前年度同期と比較すると、8.6%増となっています。(上記折れ線グラフ)

②建設資材…生コン、セメントはともに同年同月を上回る。

単位:前年同月比(%)		
	生コン	セメント
2016/5	△ 0.7	△ 0.7
6	△ 7.1	△ 2.4
7	△ 23.1	△ 14.8
8	△ 14.0	△ 11.4
9	△ 21.2	△ 21.4
10	△ 9.9	△ 12.4
11	3.0	△ 0.1
12	△ 2.4	3.5
2017/1	5.1	13.5
2	△ 3.7	1.6
3	16.5	6.3
4	11.6	6.1
5	11.1	10.7

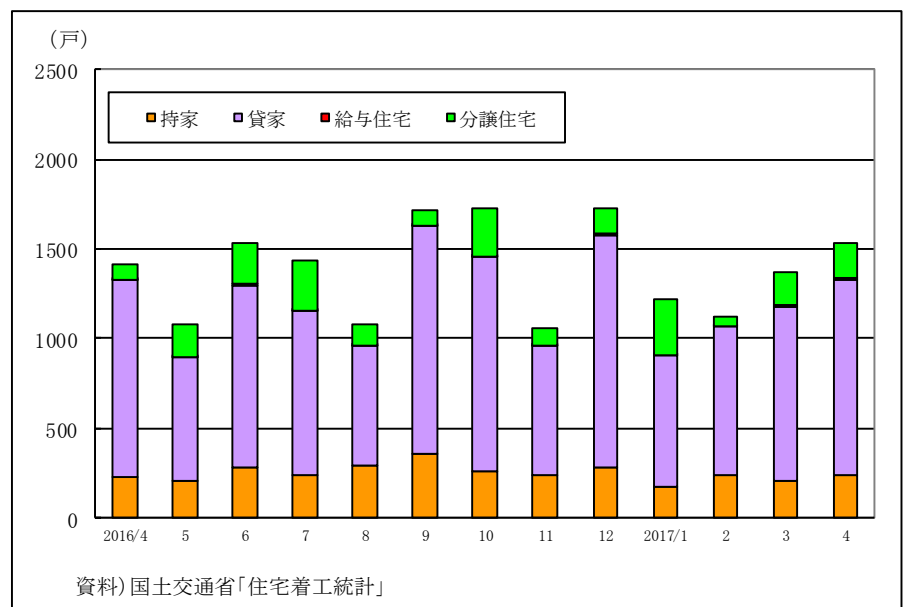


(注1)セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

**建設資材関連**では、生コンの出荷量は11.1%増と3ヵ月連続で前年同月を上回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より20.5%上回り、民間工事向け出荷も6.5%上回りました。セメント出荷量は10.7%増と6ヵ月連続で前年同月を上回りました。

【参考】住宅投資(4月)…着工戸数は前年同月を上回る。

単位:戸、%		
	着工戸数	前年同月比
2016/4	1,409	20.2
5	1,085	△13.5
6	1,535	△16.0
7	1,432	5.1
8	1,082	△38.7
9	1,714	12.2
10	1,731	54.8
11	1,057	△19.1
12	1,728	32.3
2017/1	1,215	△11.1
2	1,125	12.5
3	1,375	29.5
4	1,528	8.4

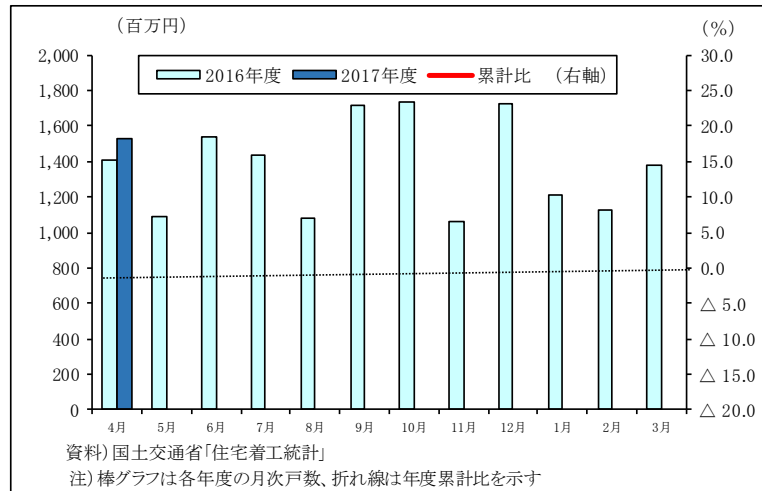


**新設住宅着工戸数(4月)**は、全体で前年同月比8.4%増の1,528戸と3ヵ月連続で前年同月を上回りました。利用別戸数をみると、ウェイトの高い「貸家(同1.3%減)」は前年同月を下回ったものの、「持家(同6.6%増)」や「給与住宅(同300.0%増)」、「分譲住宅(同138.3%増)」は上回りました。

【参考】住宅投資（年度累計）…前年同期を上回る。

単位:百万円、%

	2016年度	2017年度	累計比 (右軸)
4月	1,409	1,528	8.4
5月	1,085		
6月	1,535		
7月	1,432		
8月	1,082		
9月	1,714		
10月	1,731		
11月	1,057		
12月	1,728		
1月	1,215		
2月	1,125		
3月	1,375		

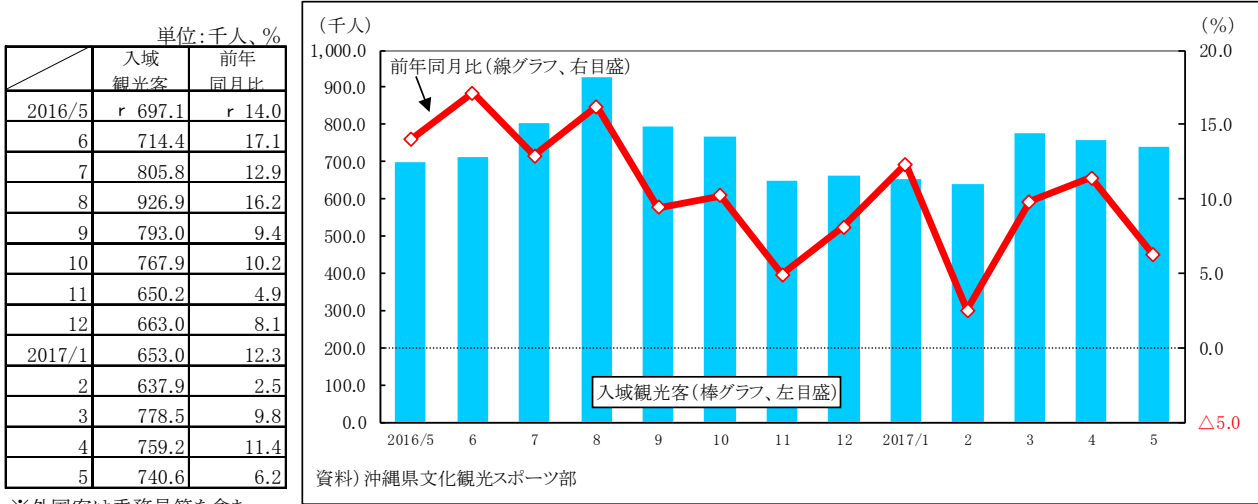


年度累計で見ると、8.4%増(4月期のみ)となっています。(上記折れ線グラフ)



■観光関連： (良い)

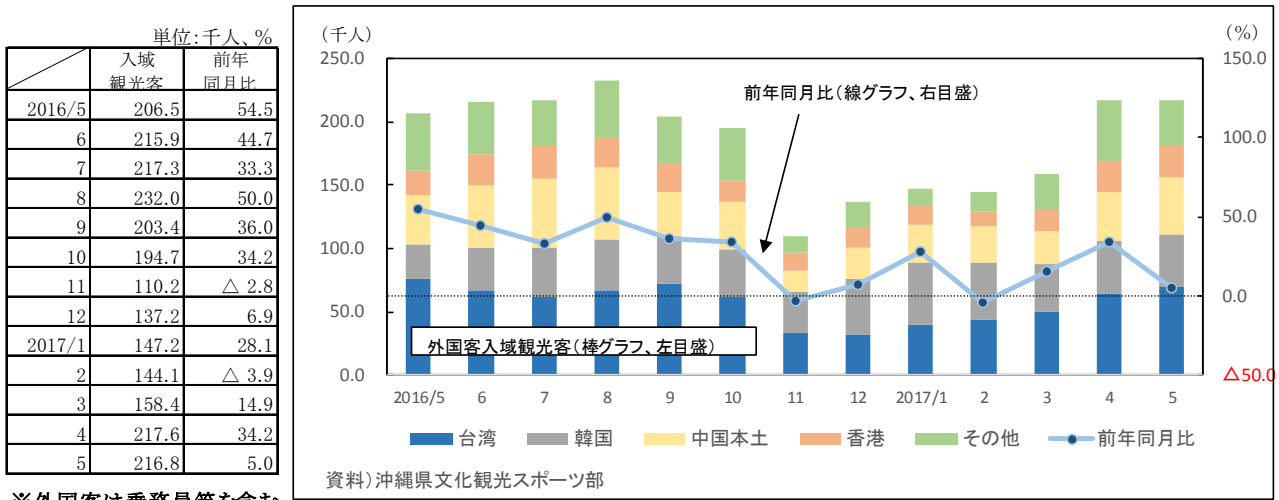
①入域観光客数（国内客・外国客の合計）…56ヵ月連続で前年同月を上回る。



※外国客は乗務員等を含む

※上記 2016 年 5 月の数値については、沖縄県よりホームページにて数値訂正の公表(2016 年 8 月 19 日付)があったことから遡って修正した。

外国客 入域観光客数…3ヵ月連続で前年同月を上回る。



※外国客は乗務員等を含む

5月の入域観光客数は、43,500人多い740,600人(前年同月比6.2%増)となり、56ヵ月連続で前年同月を上回りました(5月としては過去最高)。

内訳をみると、「国内客(同6.8%増)」は523,800人と、ゴールデンウィークの日並びが良かったことや航空路線の拡充(増便等)効果などから需要が好調に推移したほか、昨年の熊本地震で縮小した旅行需要が回復したことなどから、14ヵ月連続で前年同月を上回りました。

他方、「外国客(同5.0%増)」は、216,800人と3ヵ月連続で前年同月を上回りました。航空路線の拡充効果に加え、韓国の大型連休や中国の端午節休暇により需要が好調に推移したことなどから空路客が好調に推移し、前年同月を上回りました。

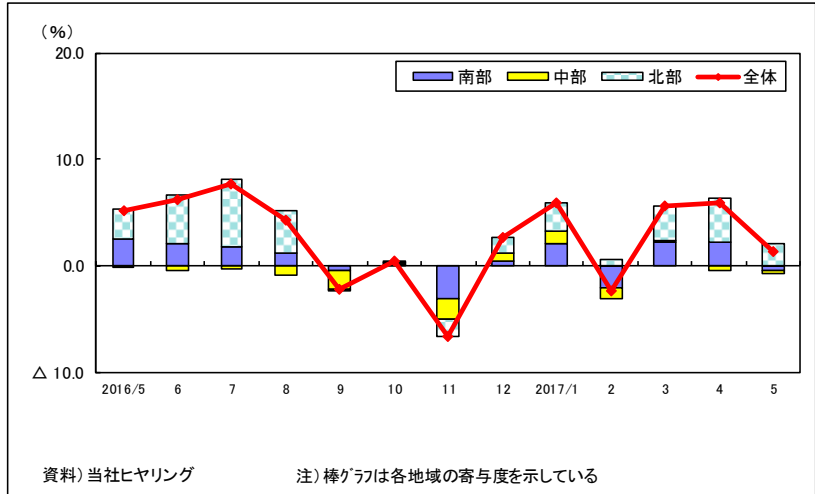
「台湾(同9.3%減)」「韓国(同50.2%増)」「中国本土(同21.1%増)」「香港(同23.1%増)」

※乗務員等を除く2017年5月実績＝全体715,800人(同8.3%増)、外国客192,000人(同12.7%増)、国内客は変わらない。



②観光施設入場者数…3ヵ月連続で前年同月を上回る。

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2016/5	5.2	6.5	△ 0.8	5.7
6	6.2	5.2	△ 3.6	9.2
7	7.7	5.1	△ 3.1	11.8
8	4.3	3.5	△ 6.9	7.3
9	△ 2.3	△ 1.3	△ 15.0	△ 0.1
10	0.4	0.3	0.9	0.4
11	△ 6.7	△ 7.4	△ 14.2	△ 3.7
12	2.7	1.1	5.0	3.5
2017/1	5.9	5.4	8.9	5.5
2	r △ 2.4	△ 5.6	△ 7.6	r 1.3
3	r 5.6	5.6	1.6	r 6.7
4	5.9	5.8	△ 3.3	8.5
5	1.3	△ 1.2	△ 2.0	4.2

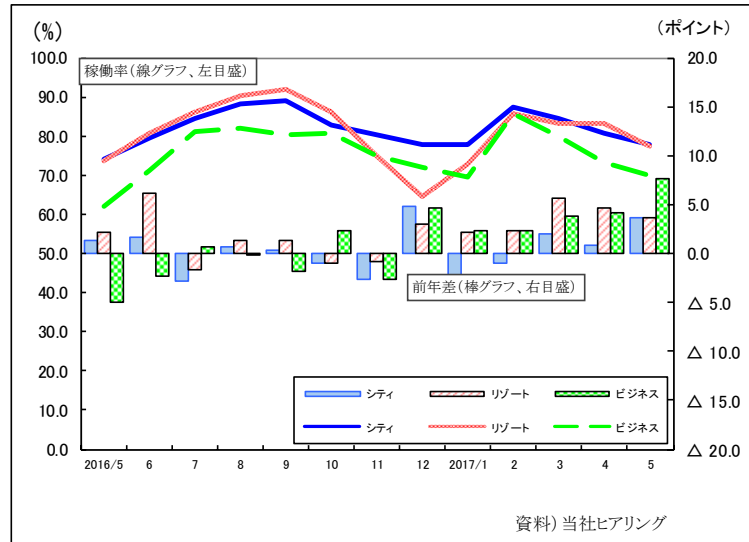


※調査対象施設数＝南部6、中部6、北部5施設  
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

観光施設入場者数は、全体で前年同月より 1.3%増加(3ヵ月連続)しました。地域別にみると、北部にある観光施設は同 4.2%増と 6ヵ月連続で前年同月を上回り、南部は同 1.2%減と 3ヵ月ぶり、中部は同 2.0%減と 2ヵ月連続で前年同月を下回りました。

③ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2016/5	74.2	73.5	62.2	1.3	2.1	△ 4.9
6	79.6	80.7	71.3	1.6	6.2	△ 2.3
7	84.4	86.2	81.3	△ 2.8	△ 1.7	0.7
8	88.1	90.4	82.0	0.6	1.4	△ 0.2
9	89.2	92.1	80.4	0.3	1.4	△ 1.8
10	82.9	86.2	80.9	△ 1.0	△ 1.0	2.3
11	80.2	75.1	75.0	△ 2.7	△ 0.9	△ 2.6
12	77.6	64.4	72.0	4.8	3.0	4.6
2017/1	77.9	73.0	69.6	△ 2.6	2.1	2.3
2	87.3	85.6	85.7	△ 1.0	2.3	2.3
3	84.3	83.0	79.8	2.0	5.7	3.9
4	80.9	83.1	73.4	0.8	4.6	4.1
5	77.8	77.2	69.9	3.6	3.7	7.7



注) シティ9ホテル、リゾート18ホテル、ビジネス7ホテル

注) 2015年10月より、シティホテル対象施設数が増(10⇒9)となったことから、2014年10月以降の数値を遡って改定した。

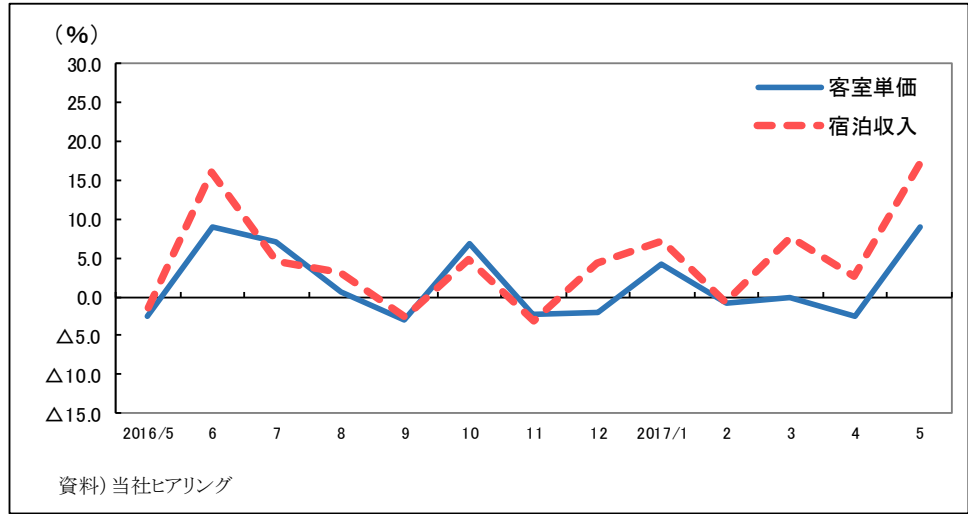
注) 2016年4月より、リゾートホテル対象施設数が増(19⇒18)となったことから、2015年4月以降の数値を遡って改定した。

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

県内ホテル稼働率は、シティホテルが 77.8%と 3.6ポイント増加(3ヵ月連続)、リゾートホテルが 77.2%と 3.7ポイント上昇(6ヵ月連続)、ビジネスホテルが 69.9%と 7.7ポイント上昇(6ヵ月連続)しました。

④ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。

単位: %		
	客室単価	宿泊収入
2016/5	△2.4	△1.5
6	9.1	16.1
7	7.2	4.6
8	0.7	3.1
9	△2.9	△2.5
10	6.8	4.9
11	△2.2	△3.0
12	△1.9	4.3
2017/1	4.2	7.1
2	△0.8	△0.6
3	△0.2	7.7
4	△2.6	2.6
5	9.1	17.0



※対象施設数: 27施設(シティ9、リゾート18)、ビジネスは除く

※客室単価は27施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)

※2015年10月より、シティホテル対象施設数に変更(10⇒9)となったことから、2014年10月以降の数値を遡って改定した。

※2016年4月より、リゾートホテル対象施設数に変更(19⇒18)となったことから、2015年4月以降の数値を遡って改定した。

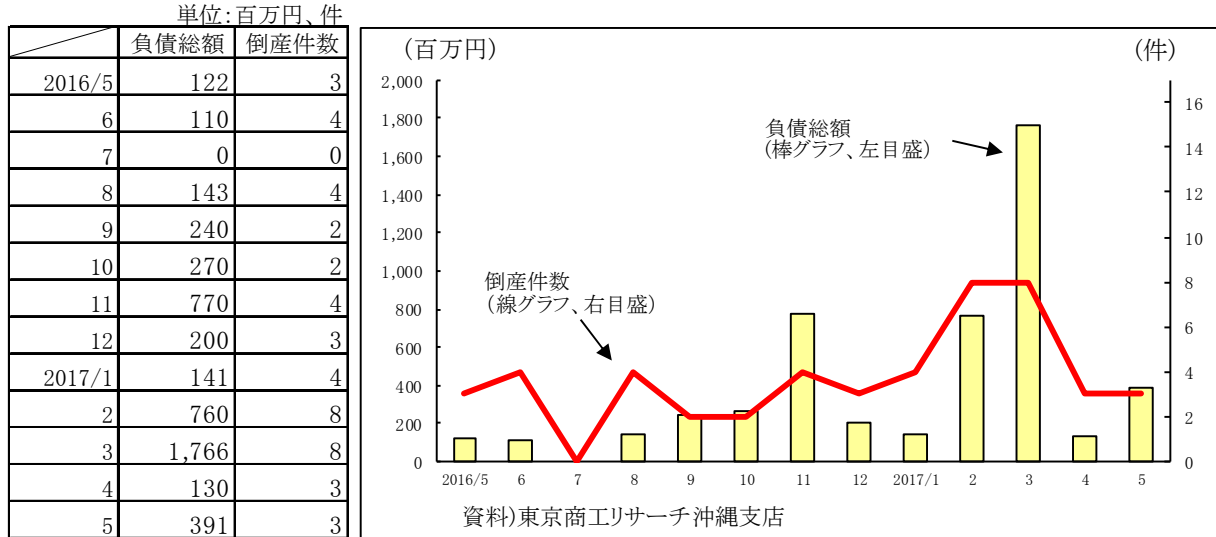
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

**ホテル客室単価**(シティ&リゾート)は前年同月比 9.1%増と前年同月を上回りました。**宿泊収入**も同17.0%増と前年同月を上回りました。



■企業倒産: (やや良い)

企業倒産…件数は前年同月と同数、負債総額は上回る。

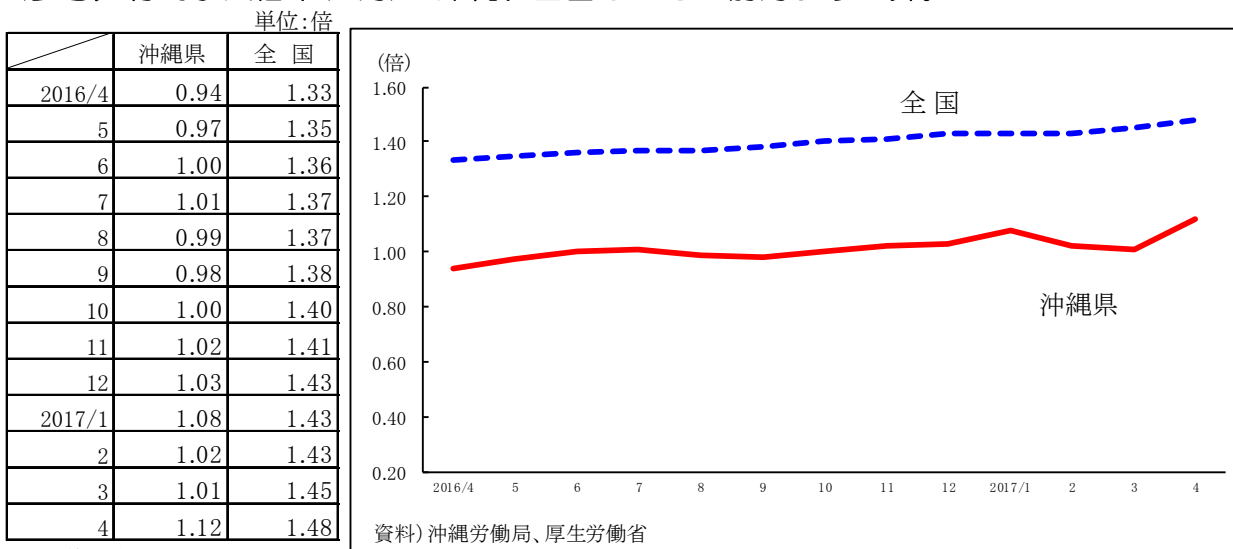


5月の企業倒産件数は、3件(うち大型倒産0件、大口倒産は1件)となり、前年同月と同数となりました。負債総額は3億9,100万円となり、前年同月より220.5%増加しました。



【参考】雇用関連: (良い)

(参考) 有効求人倍率(4月)…沖縄、全国はともに前月より上昇。



注) 季節調整済

注) 季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による

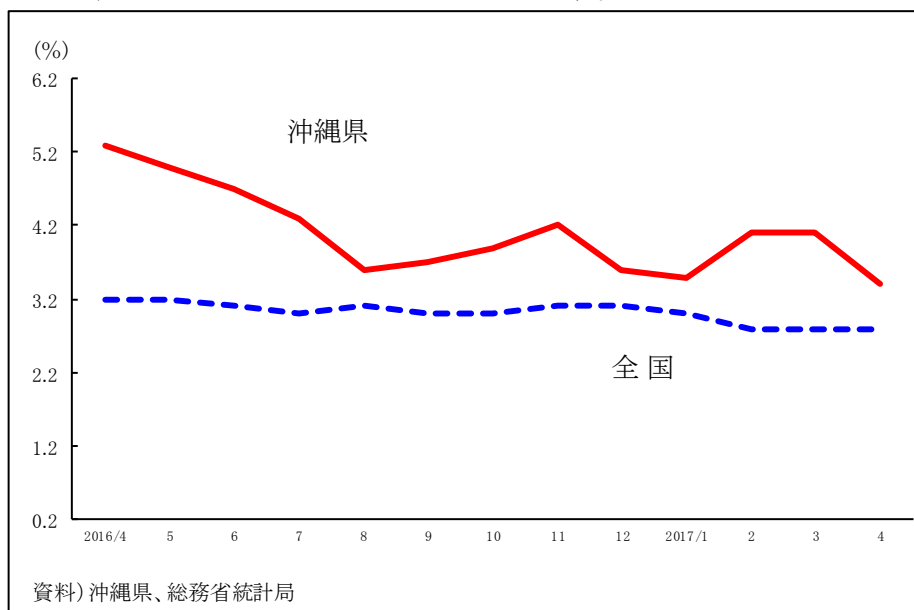
4月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比5.6%増の28,707人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比4.5%減の25,685人となり、有効求人倍率(季節調整値)は1.12倍となり前月より0.11ポイント上昇しました。

(参考) 完全失業率(4月)…沖縄は前月より低下、全国は同水準。

単位:倍

	沖縄県	全国
2016/4	5.3	3.2
5	5.0	3.2
6	4.7	3.1
7	4.3	3.0
8	3.6	3.1
9	3.7	3.0
10	3.9	3.0
11	4.2	3.1
12	3.6	3.1
2017/1	3.5	3.0
2	4.1	2.8
3	4.1	2.8
4	3.4	2.8

注) 季節調整済



4月の完全失業率(季節調整値)は、3.4%となり前月より0.7ポイント低下しています。